

# 防災学習② 江戸川区の地形について知りましょう

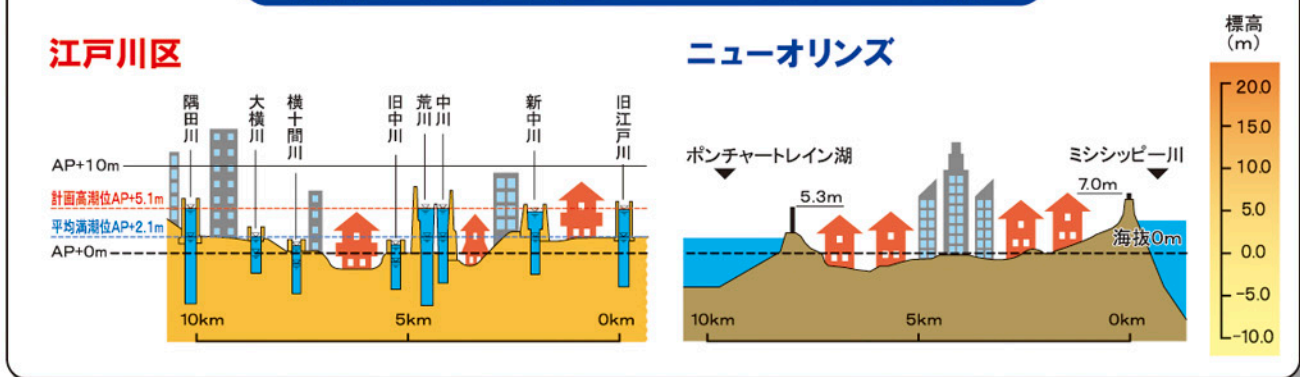
## なぜ江戸川区は水没してしまうのか

### ■水が集まる江戸川区の地形

江戸川区は、荒川や江戸川の大河川と東京湾に囲まれており、区の7割が海拔0メートルの低地帯です。この地形は、<sup>す</sup>播<sup>ば</sup>り鉢<sup>ばち</sup>状の低地を形成しており、平成17年にハリケーン「カトリーナ」による甚大な被害が発生したアメリカのニューオリンズと類似しています。

荒川や江戸川、利根川は上流に広大な流域を持っているので、河川を流れる水の量も膨大になります。そのため一度決壊を引き起こすと河川から流れ出す水量(浸水)も大きなものとなり、最下流に位置する江戸川区にまで流れ込んできます。

### 類似する江戸川区とニューオリンズの地形



江戸川区は河川の一番下に位置しています。そのため、上流部で河川の決壊が起きたり、高地で大雨が降ると、水が集まって流れてきます。

### 高い土地の水が江戸川区まで流れてきます

